



### 平和を求めめる活動とパークインの現状について

渋谷 理津子 議員



**質問** 戦後75年を経過し人口の84・5%が戦後生まれとなるが、遺族会の状況及び平和を求めめる活動は、どのように行われているのか。

**答** 本市遺族会の会員数は、令和元年度で322名と30年前の約3分の1に減少していますが、同会女性部では、活動内容の周知や

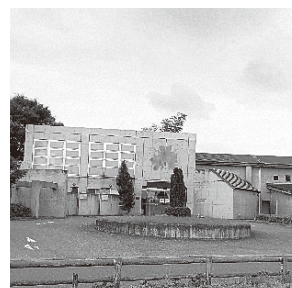
た。平和教育は、学習指導要領に特別な領域がありませんが、各学校の取り組みにより、高齢者や被爆体験者から直接講話を受け学んでいる例もあり、今後の継続が課題となっています。

**要望** 本市は、非核平和都市宣言をしており、平和の尊さを次世代へつないでいく教育を継続するよう要望します。

**質問** 長期間休止となっている「つつじが岡パークイン」の建物等の現状、また、

日本遺産「里沼」と本市総合計画の中で、パークインは、どのような位置付けとなっているのか。

**答** 建物は比較的きれいに保たれ、特段の損傷はありません。総合計画においては、観光客や交流人口の拡大につなげ、地域経済を発展させる拠点施設と考えています。また、日本遺産「里沼」の中でも、つつじが岡や城沼の渡し船など観光資源を代表するものと併せて、パークインも一つの



つつじが岡パークイン

拠点になると考えています。  
**要望** 本市は何を目標しているのか、混乱しているのではないか。サイクリングターミナル設置の目的を認識し、どうすれば市民福祉に本当に貢献できるかを再構築するよう要望します。



### 小・中学校の感染症拡大防止対策と市庁舎内のペーパーレス化の取組について

平井 玲子 議員



**小・中学校の感染症対策**

**質問** 消毒作業について、お尋ねいたします。

**答** 文科省の衛生管理マニュアルに基づき実施しており、具体的には、大勢がよく手を触れる場所などは一日一回消毒を行っています。清掃により清潔な空間を保ち、手洗いを徹底する

ことが重要であるとの考えのもと、引き続き、感染予防に取り組んでいきます。

**質問** トイレ及び手洗い場の水栓、蛇口について、お尋ねいたします。

**答** 蛇口の設置数は、小・中学校16校の合計で約1600個となり、形状のほとんどはハンドル式です。



レバー式の蛇口

**質問** レバー式に交換する考えがあるか伺います。

**答** レバー式の蛇口は、肘や手の甲で開閉が行え接触を減らすことができるため、感染リスク低減に有効と考えており、交換することを検討してまいります。

### ペーパーレス化の取組

**質問** 市庁舎内の年間の紙購入枚数を伺います。

**答** 複合機用の用紙は、約355万2500枚、印刷機用の用紙は、約270万枚となります。

**質問** 購入費と印刷費は。

**答** 複合機用の紙購入費用は、227万1394円、印刷費用は、複合機829万1173円、印刷機417万1452円となります。  
**要望** 印刷機の紙は、各課が購入しており、A4のみ

と仮定して計算すると162万円、また、複合機と印刷機の年間紙代と印刷代の合計は、約1636万円となります。ペーパーレス化に取り組んでいる長野県塩尻市は、タブレット会議システムを導入しております。公明党でも地方自治体のデジタル化を着実に進めるために国へ要望書を提出しました。ペーパーレス化は、その効果を市民の皆様に戻元できますので、その取組を強く要望いたします。